

# 費用対効果分析結果等の公表のあり方について

- 1 費用対効果分析結果等の公表の考え方
- 2 わかりやすい公表資料について
- 3 公表のタイミングについて
- 4 建設局ホームページでの公表について

# 1 費用対効果分析結果等の公表の考え方

## ■ 費用対効果分析等の公表の課題

**課題** 費用対効果の詳細な算定方法は内容が専門的であり、治水経済調査マニュアル（案）の様式のみを公表するだけでは、都民に正しい情報を伝えることが困難



## ■ 費用対効果分析結果等の公表方針

1. 費用対効果分析の結果（B/C等）だけでなく、算定の過程についても公表
2. 費用対効果分析の算定方法は専門的であるため、都民への分かりやすい説明を追加
3. 河川整備計画策定専門家委員会で学識経験者から意見を聴取したうえで資料を公表
4. 河川整備計画策定専門家委員会後に、ホームページで公表

# 2 わかりやすい公表資料について

## ■ 公表資料

- ・ 治水経済調査マニュアル（案）に沿って、資産データ、被害額等を公表
- ・ 公表データの算出方法などの解説を添付

### 公表データ

■資産データ（浸水区域に含まれる資産） 石神井川上流地下調節池事業

○一般資産等基礎数量

解析ケース	浸水面積 (ha)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	従業者数 (人)	農漁家数 (世帯)	延床面積 (㎡)	水田面積 (ha)	畑面積 (ha)
調節池整備前	140	18,585	9,158	5,786	15	837,570	0	0
調節池整備後	103	13,944	6,902	4,643	11	597,712	0	0

○一般資産額

解析ケース	家屋 (百万円)	家庭用品 (百万円)	事業所償却資産 (百万円)	事業所在庫資産 (百万円)	農漁家在庫資産 (百万円)	農漁家償却資産 (百万円)	農作物資産 (百万円)	資産額合計 (百万円)
調節池整備前	279,748	120,403	16,729	7,911	28	11	0	424,830
調節池整備後	199,636	90,749	13,597	6,407	19	7	0	310,416

※調節池整備後の基礎数量、資産額は調節池のみの効果を反映  
※護岸整備の完成により被害が全て解消

【一般資産額の算出】  
一般資産額 = 一般資産等基礎数量 × 評価額

【被害額の算出】  
被害額 = 一般資産額 × 浸水深別被害率

※事業費の0.5%/年で設定

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総費用 (C)	876.56[億円]	1,084.21[億円]						
費用便益比 (B/C)	1.31	1.11						

- ・ 治水経済調査マニュアル（案）に記載されている様式に沿って、当該事業の整備効果データ等を公表

### 解説

■資産データの算定について

調節池整備前と整備後で氾濫シミュレーションを実施し、浸水区域内における一般資産等の基礎数量と資産額を算出

○氾濫シミュレーションの実施

- ・ 計画規模洪水の氾濫シミュレーションを実施
- ・ 調節池整備前と調節池整備後の浸水が想定される区域を算出
- ・ 浸水区域のメッシュデータ（人口、世帯数、延床面積等）から基礎数量及び一般資産額を算出

【イメージ】

※調節池整備による目標規模

※石神井川ではメッシュの大きさを25m×25mで設定

床上	100～199cm	145～245cm未満	200～299cm	245～345cm未満	300cm以上	345cm～
浸水深	0.5m未満	0.5m未満	0.5m未満	0.5m未満	0.5m未満	0.5m未満

※待素において施設が有している箇所

- ・ 公表データの算出方法や考え方について、イラストや用語の説明等を整理

#### ■河川整備計画策定専門家委員会で意見聴取する費用対効果分析

- 河川整備計画策定（変更）時
- 国交省の新規補助採択時等（申請時に新たに算出が必要な場合）



#### ■資料公表のタイミング

河川整備計画策定専門家委員会での意見聴取を行った後、建設局ホームページにおいて資料を公表

# 4 建設局ホームページでの公表について

## 建設局ホームページでの公表イメージ

東京都建設局  
Bureau of Construction

115 X 8341-3-2016 基協AA適合 文字を大きくする 標準 大 English 都庁総合ホームページ

サイトマップ Google 検索 検索

建設局について 事業別でみる 入札・申請書 建設事務所をさがす お問い合わせ

河川整備計画策定専門家委員会について

河川整備計画策定専門家委員会は、東京都が管理する河川について、今後実施していく具体的な河川整備に関する事項を定める「河川整備計画」を策定・変更するにあたり、学識経験者から専門的知見をもとにした意見を聴取することを目的とした委員会です。

- 河川整備計画策定専門家委員会の目的[34KB]
- 河川整備計画策定専門家委員会設置要綱[107KB]
- 委員名簿[80KB]
- 河川整備計画策定専門家委員会運営要綱[48B]

### 開催状況

◇平成29年度

第13回河川整備計画策定専門家委員会  
日時 平成29年10月27日  
場所 東京都庁第一本庁舎42階特別会議室B  
[開催案内](#) [配布資料等](#)

◇平成30年度

第14回河川整備計画策定専門家委員会  
日時 平成30年9月14日  
場所 東京都庁第二本庁舎31階特別会議室24  
[開催案内](#) [配布資料等](#)

◇令和3年度

第15回河川整備計画策定専門家委員会  
日時 令和4年3月29日  
場所 東京都庁第一本庁舎北塔42階特別会議室C（オンライン併用）  
[開催案内](#) [配布資料等](#)

◇令和4年度

第16回河川整備計画策定専門家委員会  
日時 令和4年11月2日  
場所 東京都庁第二本庁舎31階特別会議室24（オンライン併用）  
[開催案内](#) [配布資料等](#)

◇令和5年度

第17回河川整備計画策定専門家委員会  
日時 令和5年11月27日  
場所 東京都庁第二本庁舎31階特別会議室23（オンライン併用）  
[開催案内](#) [配布資料等](#)

### 掲載場所

河川 > 河川の事業 > 河川整備計画について > 河川整備計画策定専門家委員会について

### 掲載予定内容

◇令和6年度

第18回河川整備計画策定専門家委員会

日時 令和6年7月23日

場所 新宿NSビル 3-1会議室（オンライン併用）

[開催案内](#) [配布資料等](#)

### 公開情報（河川整備計画策定専門家委員会資料）

資料

#### 石神井川上流地下調節池整備事業について

#### 5 事業の投資効果

##### ■被害額、被害軽減額及び年平均被害軽減期待額の算出について

- メッシュデータと氾濫解析によりメッシュ毎の浸水深に市定浸水深別被害率を用いて被害額を算出
- 被害軽減額は調節池整備の前後による被害額の差分により算出
- 計画規模の被害軽減額にその洪水の生起確率（区間確率）を乗じて、1年あたりに期待できる被害軽減額である「年平均被害軽減期待額」を算出

【イメージ】

被害額、被害軽減額及び年平均被害軽減期待額の算出

浸水深	被害率
50cm未満	0~4%
50~99cm	4~10%
100~149cm	10~14%
150~199cm	15~19%
200~249cm	19~24%
250cm以上	25%

都民にも分かりやすい解説付きの資料を公表